



子供（小学生）の頃のスポーツとしては草野球やドッチボールや陸上の色々なスポーツがありましたが、マラソンもありました。私は、マラソンは普通の力ですが、体調が悪くて一番ビリを走っていた時、先頭の者が道を間違えて逆戻りしなければならない事態が突然生じ、私が一番先頭になってゴールインしたことがありました。このため、私はマラソンが極めて強い人間にさせられて可笑しいやら迷惑やらと感じた思い出を懐かしく思い出します。

また、冬期では学校の二階から校庭に向かって飛びこみをしたり、夏期には5mや10mのプールの飛び込み台から飛び込んで競争し、自慢し合ったことも思い出されます。冬期の飛び込みは直飛びは一応問題はありませんが、頭からの飛び込みは頭が雪の中にうまり込み、すぐに皆で引き上げないと危険でした。ずいぶん無茶な遊びをしたものです。

また、プールでの高所からの飛び込みは私達は直飛びしかできませんでしたが、鼻を痛めるのは勿論ですが、男子の急所にかかなりの衝撃があったことを今思い出し、よくやったなあと思います。

また、最近のアクションやサスペンス等で高所からの海への飛び込みのシーンがよく見られますが、どうしているのでしょうか？単なる撮影上のテクニックだけなのでしょうか？

また、よく川で泳いだものですが、川は上るのは中々できませんが、下りはいくらでも泳げます。ある夏、いい気になって下流への水泳をしていましたら、2つも離れた町まで泳ぐことになり、帰り路を裸同然で何キロも町中等を歩いて帰宅し、子供でもとても恥ずかしい思いをしたことを思い出します。